天王寺区広報紙

編集/発行 天王寺区役所 事業戦略室(広聴広報)

☎ 06-6774-9683 **☎** 06-6772-4904

大阪市LINE公式アカウント トークルーム右下の「受信設定」か ら「天王寺区」を選択してください。 広報紙デジタルブック版、緊急情報、 イベント情報等をお届けします。



tennoji



11月30日は「人生会議の日(いいみとり、みとられの日)」

もしも (大きな病気・ケガ) のときのための あなたの希望、前もって考えてみませんか?







どんな治療を 受けたいですか?

- ★一日でも長く生きられるような治療
- ★痛みをやわらげ、これまでの生活を 大切にした治療
- ★治る見込みが少ないなら 治療を希望しない

など

どこで過ごしたいですか?

- ★自宅 ★病院などの医療機関
- ★老人ホームなどの施設

もしも大きな病気やケガをしたら?

など



自分の気持ちを代わりに 伝えてくれる人は 誰ですか?

★家族 ★友人

★医師、看護師

★介護者

など



「人生会議(ACP:アドバンスド・ ケア・プランニング)]とは…

命に関わる大きな病気やケガなど、もしもの時のために、自ら望む 医療やケアについて前もって考え、周囲の信頼できる人たちと話し 合い、共有しておくこと。



もしものときのために、自分が望む医療やケア を考え、話し合い、共有する「人生会議」。その重 要性について、一般社団法人天王寺区医師会の 喜多岡会長に話をうかがいました。

自分が望む医療やケアを考えてみましょう

例えば、がん患者は、病気の初期から自分が望む治療、ケアについて話し合 う機会を持つことがあります。話し合いはその後も何度か行い、病状の進行 に合わせて、受けたい治療・ケアを変えることもできます。また、最初は「要 望はない」と言う方も、話し合いを重ねるにつれ、イメージがわき、希望が 明確になってくることもあります。「人生会議」の非常に有意義な側面です。



一般社団法人天王寺区医師会 会長 喜多岡 雅典さん

考えを話し合い、周囲の人と共有しましょう

ひとことで「人生会議」と言っても、皆さんが置かれている状況はさまざまです。進行性や慢性の病気を持 つ人はもちろんですが、若くて元気な人でも急性の病にかかる可能性はあります。事前に話し合い、考え を共有することで、もしものときには、代わりの人があなたの希望を伝えてくれる可能性が高まります。 「弱った時のことなんて考えたくない…」と話し合いに後ろ向きの人も多いですが、区医師会、区在宅医 療・介護連携相談支援室では、"「人生会議」やエンディングノートはちょっと気が重い"という方のために 「もしもの時に伝えるカード」を作成しました。話し合いのきっかけにぜひご活用ください。



「もしものときに伝えるカード」 区HPからダウンロードできます▶



もしものときのための希望を書き込める リーフレット「人生会議ってなんだろう??」 大阪市HPからダウンロードできます▶

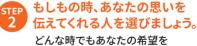


人生会議 つのステップ

.



- ・家族や友人のそばにいたい
- 好きなことを続けたい
- ・家族に負担をかけたくない



尊重できる人は?



・今後予想される経過は? ・必要な医療やケアは?





- 痛みや辛さがなければ、 できるだけケアして欲しい
- ・できるだけ住み慣れた 自宅で過ごしたい





話し合った内容は記録として書き残し、 周囲と共有しておきましょう

※思いは変化します。何度でも繰り返し考えましょう。

問 保健福祉課(健康推進) 📞 06-6774-9882